



5月10・11日(土・日)伊豆旅行に出かけました。宿泊場所は天城高原にある小野さんの別荘です。小野さんの別荘に泊まるのは2回目。前回は、昨年9月にお世話になりました。その時、新年会をここでという案があったのですが、“標高が高く、寒いのでは？”と見送ることになり、“新緑の季節に行きましょう”と。それが、今回実現したわけです。

今回は、電車やバスを利用しての行動です。事前の計画はきちんと立てるものの、その通りにいかなかったりします。でも、それを楽しんでしまえばそれによし。

天候に恵まれたので、夜のバーベキューは、別荘のテラスで最高に盛り上がります。小野さんが用意してくれた「八海山」でのどを潤した加藤さんと横山さんの歌声は、伊豆の山で反響して、太平洋の上を滑り、ハワイは無理でも、大島あたりまで届いたかもしれません(?)。

翌日は、熱海を散策します。平面の地図で計画したものの、実際の高低差に驚かされたり、事前情報と現実のギャップに予定はどんどん変わります。それでも、非日常の旅行気分を味わい、ロマンスカーで帰って来ると、なんとも不思議な満足感が湧いて来ます。「WTR CLUB」1泊2日の珍旅行記です。



空席は5！7名いるのに...

5月10日(土)9時10分、小田急線町田駅に着きました。まだ、誰も来ていません。下りロマンスカーの案内表示を見ると、9時32分のロマンスカーは満席です。10時のロマンスカーは大丈夫だろうか？特急券売場で確認をします。なんと、空席は5席！ここから乗るのは7名ですから不可能です。しかも、宮部夫妻は小田原駅で合流し、小田原駅10時46分の伊東行きに乗る予定です。

「10時のロマンスカーより前に小田原駅に到着する急行は、ここを何時に出ますか？」係りの人は時刻表を取り出して調べてくれます。「9時35分発の箱根湯本行き10時31分に着きます」9時35分か？9時30分集合だからギリギリだなあ。「それか、9時45分相模大野発のロマンスカーで10時29分に小田原に着きます」「それに乗るためには何時の電車に乗ればいいのか？」「9時39分の各駅停車本厚木行きに乗れば間に合います」

集合場所に帰り、すでに集まっていたみなさんにこのことを説明し、再び、特急券売場へ走り、特急券を購入。すでに9時31分。すぐに、みんなでホームへ向かいます。9時35分の急行に乗り、次の相模大野駅で下車して、念願のロマンスカーに乗ることができました。



なんで私たちより先に？

小田原駅は、ホームの改築工事が終わり、乗換がスムーズになっていました。JRの切符売場から加藤さんが宮部さんに電話をかけます。「今どこ？」「乗換のエスカレーターを上がっています」すぐに、電話をかけながら歩いて来る宮部夫妻を発見。「なんで私たちより先に着いているの？」10時39分に到着する予定でしたからね。ということは、宮部夫妻は、私たちが町田駅で乗った急行に乗っていたことになります。

伊東までの切符を買って、予定通り10時46分の電車



で伊東へ。伊東着は11時35分です。伊東駅で宮部さんが「昼飯はどうしますか？」「もう場所は決めています」まさに昼時、人数も9名ですから、あまりうろうろしても時間がなくなるばかりです。駅前の



「海女屋」という寿司屋に入りました。ここは、今年1月26日伊豆高原の少し南の赤沢にある「和煦和煦温泉」に来た時、昼食をした場所です。値段・味・量が手頃かなと思ひまして。みんなが頼んだのは“地魚にぎり定食1800円”

「おい！いるか？」

12時30分過ぎ、店を出て、近くの「セイフー」で買い出しをします。野菜・魚介類・肉・麺類とあらかじめリストアップしておいた食品を次々とかごに入れていきます。会計を済ませたら、ここでもらった発泡スチロールの容器に生鮮品を氷とともにに入れてガムテープで密封し、ひもで持ち手を作ります。次に、酒屋で焼酎を購入して買い出し完了。みんなの素早い行動で、シャトルバスの時間まで30分の余裕がありました。

5分前に現れたシャトルバスに乗り込み、発車直前、一番前の座席に座っていた小野さんが立ち上がり後ろに向かって「おい！いるか？」「パバいますよ」と言いながら奥さんが小野さんの横の座席に座ろうとすると「いい！向こうに行つてろ」「あらま、追いつかれちゃったわよ」これにはみんな大笑い。



どこだ？別荘は

シャトルバスは、定刻の14時45分、天城高原東急ハーベストに到着しました。運賃は100円。荷物を地下1階のコインロッカーに入れて、8階の温泉で入浴(1000円)。宿泊客が入浴する時間には少し早いので、貸切状態でした。

16時30分、小野さんが移動のために手配してくれた東急リゾートの車で別荘へ向かいます。管理センターを抜けて、別荘に近づくと、「ここだ」と思った場所が違い、4回目の「ここだ」あたりで車が止まりました。車代は1200円。

別荘の中に入ると、一休みすることなく、みんなバーベキューの準備にとりかかります。炭を熾す、食材の準備、酒やお皿の用意など。





飲んで、食べて、唄って、踊って

そして、17時25分、乾杯でバーベキューが始まりました。「小野さんの別荘でバーベキュー」が最大の目的ですから、ここからどんどん盛り上がっていきます。ビールで始まり、ワイン、そして「八海山」へ。空気の澄んだ夕暮れの中、酔いがまわり、開放感がみちてきます。今回の主役は横山さんと加藤さんでし



た。天城高原から太平洋に向かって歌を歌い続けます。みんなも手拍子で参加したり一緒に歌ったりして、時間が過ぎていきました。テラスから部屋に入ったのは21時過ぎ。それから、加藤インストラクターによる、小野さんのためのレッスンが始まり、「右！左！右！左！」「そうそう、もっと伸ばして」「そうか、こうなんだな」「いや、できたよ加藤さん」寝たのは23時過ぎでした。

右！左！回ってV！

朝、目覚めると「野生のうさぎがゴミをあさっていて...」「河合さんが4時半に起こすから...」ゴミのプロは早起きして、片づけて、散歩して捨ててくれたのです。

8時、昨日と同じ車、同じ運転手が迎えに来ました。当初の予定より車代が安くすんだので、運転手に1000円のチップを出そうということだったのですが、支払の時、チップのための1000円札が無く、でも500円玉があったのでそれを差し上げると、快く受け取ってくれました。

朝食は、ここ、東急ハーベストのバイキング1500円です。洋食・和食ともメニューは豊富です。伊豆という土地柄、和食のほうが豪華かも...？とは、町田の思ったところで、好きなものを好きなだけ食べばよいのです。それでも、加藤さんのご飯5杯、宮部さんの3杯は、朝から元気ですね。

伊東駅へのシャトルバスは9時55分。それまでの時間は自由時間です。売店でお土産を買うなどします。それぞれの用事を終えて、バイキングの





レストランの入口のソファあたりに集まって来ます。そこで、始まったのが「右！左！右！左！...！！」昨夜の復習です。これで30分はアツという間。



宿泊者のふりしてホテル侵入

バスは、少し遅れて出発したものの、伊東駅には定刻よりやや早く到着しました。10時55分の特急踊り子号に乗車する予定を組んでいたのですが、10時45分の普通電車で間に合いました。その普通電車は「リゾート21号」という車両で、車内はちょっと豪華なレイアウト。得した気分で熱海へ。

11時30分のバスで「錦ヶ浦自然郷」へ向かいます。15分ほどで「錦ヶ浦」バス停に到着します。“自然郷”という名前から、岩場歩きが楽しめる散策路を想像していたのですが、実際



は、ホテルに管理された外庭の一部でした。見事過ぎる階段で海に向かって下って行かされます。下に見える岩場は確かに素晴らしいのですが、何か物足りない...。そして、降りたら上れの往復。しかも、ホテル宿泊者は、最も下の場所からホテルに入り、自分の部屋に戻る仕組みなのです。ホテル宿泊者専用のゲートをくぐり、ホテル内に侵入し、エレベーターで最上部の出口から何食わぬ顔で脱出しました。やや冒険。

昼食は好きな場所で

次なる目的地は「ふしぎな町一丁目」。そこへ向かうトンネルを通り抜けます。ところが、地図は二次元、実際は三次元、上から「ふしぎな町一丁目」を見ながら、近づくことができません。遠回りをして、さらに、そこへの看板に従って歩くのですが、またまた遠回りをしていることに気がきます。それは、一方通行などを含めた車のドライバーへの案内でした。なんて歩きにくいことか！



ようやく、「ふしぎな町一丁目」に着いたのですが、センスの悪い音楽が流れていて、中は暗く閉鎖的な雰囲気なのです。当然、却下！

時刻は13時、こうなるととてもお腹が空きます。しかも、それまで頑張った満足感がないのでなおさら。小野さんは目の前の屋台でもよいと。小野さんの奥さんはこんな場所とはとてもないと。すぐその熱海後楽園ホテルならいかがですか？





も、加藤さんは屋台風な場所がなつかしいらしくて、それぞれの思う方向に歩き出してしまうものでから、「じゃあ、二手に別れましょう」集合場所は、熱海後楽園ホテルの前、熱海城へのロープウェイ乗り場の前の熱海駅へのバス停。ホテルへは、小野夫妻、宮部香与子さん、河合さん。屋台へは、その残りです。

14時30分の素敵な赤いバスで熱海へ。熱海から小田原へ。小田原からロマンスカーで帰りました。



小野さん、そして奥さん、本当にお世話になりました。おかげさまで今回も楽しい伊豆旅行となりました。

